

令和4年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	20	学校名	静岡県立浜北特別支援学校	記載者	磯部正之
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	個性を生かし確かな成長を感じられる教育活動を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況を踏まえた学習グループ編成、系統性を踏まえた年間指導計画の実践ができたと感じる教員 100% ・児童生徒が一人一人の個性を生かし、成長できたと感じる教員、保護者 100% ・チームで達成感・喜びのある授業を実施した教員 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が児童生徒の個性を引き出そうという姿勢で工夫された教育がされている。 ・学校在学中の指導が卒業後の就労継続にどうつながったか、就業先の会社でどう評価されているか検証する必要がある。 ・ICTの活用については、個別面談時に学校側と保護者側と共通理解をしたり、キャリアパスポートを活用したりなどして学習であるということを保護者とともに認識する必要がある。
イ	具体的な将来像をより明確にした地域で生きる力を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアシートを学年・学級経営に生かし、生活年齢に応じた力をつけた児童生徒 100% ・教育支援計画に地域で生きる将来像を盛り込み、キャリアパスポートを活用し、児童生徒が目標に向かって力をつけたと感じる保護者、教員 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが立てた目標を達成に導く指導がされている。 ・地域で生きる将来像について保護者が明確に想像できていない。保護者として地域を知る機会が今後増えることを期待する。
ウ	お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を意識して自ら笑顔でありさつができた児童生徒、教員 100% ・重大ないじめ 0 ・学校は楽しい、学校に来たい、居心地がいいと答える児童生徒 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、教職員共に全員がさわやかで気持ちの良い挨拶ができています。浜北特支の雰囲気をもっと明るいものにしています。 ・あいさつ運動がとても良い。朝から笑顔になることができるので継続してほしい。
エ	明確で実際の危機管理・安全体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易危機管理マニュアルの策定 ・マニュアルに沿って主体的に行動できた教職員 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や地震に対する備えはある。大雨の災害に備えた対応が必要になっていると感じる。冠水する場所やスクールバスのルート of 危険地帯の確認が必要だと感じる。

様式第5号

		<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを含め、ヒヤリハットの活用による重大な事故 0 ・自分の命や健康を自分で守るための取組ができた児童生徒 100% 			
オ	<p>地域とネットワークでつながり、共生社会の実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式を踏まえ、地域の「人・もの・こと」とつながる新たな取組を実現した学年 100% ・双方の成長を促した交流活動ができたと感じる教員、保護者、相手校 100% ・保護者、教育、就労、医療、福祉機関とつながり、対応を具体化できたと感じる教員 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・共生社会を実現しようという方向で地域と連携しようとしている。できるところから連携しようと具現化していた取り組みも地域住民として好感がもてた。 ・高等部の「私たちの製品で地域を明るくします」のテーマでの活動が素晴らしい。 ・日程調整が難しいと思うが交流籍交流は直接交流が望ましい。 ・地元自治会のコミュニティセンターに子どもたちの作品が展示されていると地域の学校としての思いが区民にさらに広がるため、ぜひ更なる活用を期待する。
カ	<p>信頼を得られるチームを作り、業務改善による効率化を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高い倫理観と人権意識を持ち、助け合い、協力し合う組織になったと感じる教員 100% ・不祥事 0 ・個別に意見を提案し、チームで業務改善の方策のアイデアを考え、効率化を図れたと感じる教職員 100% ・年間の時間外勤務 360 時間以内 100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携が素晴らしい。 ・教職員の負担軽減のために外部の力をもっと活用すると良い。 ・学校という「組織体」にとって「教職員の成長」が大きな責務である。自己の成長を評価しても良い。教職員の成長や自意識の醸成は、児童生徒の成長につながる。